

ご使用方法と低温やけどについて

1. 低温やけどについて

低温やけどは、心地よく感じる程度（低温より少し暖かい温度）のものでも皮膚の同じ部分が長い時間接触していると発生するやけどです。

熱いものに接触している皮膚の温度と低温やけどになるまでの時間の関係はおおよそ次のとおりです。

低温やけどになるまでの
温度と時間

44℃では3時間～4時間
46℃では30分～1時間
50℃では2分～3分

（出典：山田幸生 「製品と安全第72号」低温やけどについて 製品安全協会）

2. 低温やけどを防ぐために

●布団から出して使用する

布団が暖まったら、湯たんぽを布団から取り出して就寝すると、低温やけどの危険性はありません。
このような使い方をおすすめします。



●一定時間毎に湯たんぽの位置を変える

ご自身で位置を変えることが困難な方がご使用になる際は、保護者や介護者など周囲の方が、身体と同じ部位に触れ続けられないよう、ときどき、湯たんぽの位置を変えてあげてください。

●厚手のタオルや布で包む

必ずしも低温やけどの防止に効果があるわけではありませんが、付属のカバーを使用しその上から厚手のバスタオルや布で包むと、表面温度が下がるため、低温やけどを生じるまでの時間は長くなります。

3. 万が一、低温やけどになってしまったら

低温やけどは皮膚の深いところまで達することがあります。万が一、**低温やけどと見られる症状（皮膚の変色や痛み）や異変を感じた際は、直ちにご使用を中止して、専門医の診断を受けてください。**

取扱説明書（シリコン湯たんぽ 品番 A-7729）

LIHIT LAB.

誤った使い方をすると、やけどなど重大な事故につながる危険性があります。
ご使用前に必ずこの説明書（全4ページ）をお読みください。
この説明書はいつでも再読できるように大切に保管してください。

⚠ 警告【やけど、低温やけどを防ぐために】

- 本来の使い方（湯たんぽ又は水まくら）以外の用途では使用しないでください。
- 熱湯を入れた状態の湯たんぽ本体を直接手で触らないでください。
- 長時間にわたり、身体に密接した状態で使用しないでください。低温やけどの危険性があります。（カバーをしていても低温やけどの危険性があります）
- 特に温度調節をご自身で出来ない方がご使用になる際は、周囲の方が注意してください。
- 3歳未満の乳幼児には使用しないでください。
- 熱さを感じにくい方、疲労の激しい方、皮膚の弱い方、深酒をされた方、眠気を誘う薬（睡眠薬や風邪薬等）をご使用されている方、動植物等は正しい使い方をされていても、低温やけどや事故につながる可能性がありますのでご使用をお控えください。
- 就寝時は安全のため、布団から取り出してください。
- 本体や身体に異常を感じた際は、直ちにご使用を中止してください。
- 身体に異常を感じた際は、すぐに専門医の診断を受けてください。

⚠ お取り扱いのご注意【本体】

- 振り回したり、落下させたりなど乱暴に扱わないでください。変形や破損の原因になります。
- 湯たんぽの上に立ちあがったり、座ったりしないでください。変形や破損の原因になります。
- 直接火にかけたり、火や熱源の側に置かないでください。変形や破損の原因となります。
- 凍らせたり、鋭利な氷を入れて使用しないでください。変形や破損の原因となります。
- 使用後のお湯や水は飲まないでください。
- 本体を清掃する際は、本体を傷つけないように柔らかい布やスポンジ等で清掃してください。
- 保管する場合は、一度キャップを外し、内部の水分や湿気を無くしてから直接日光や風があたらない室内に保管してください。
- 長期保管後、再利用する際、劣化が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
- お子様、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
- 廃棄する際は、各地方自治体の廃棄区分に従ってください。
- 製品は予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。

カバーのお手入れについて

汚れた場合は、液温40℃を限度として手洗いしてください。
洗濯後は日陰でつり干し乾燥をしてください。
アイロン仕上げ、ドライクリーニング処理はできません。

⚠ お取り扱いのご注意【カバー】

- 無理に引っ張ったり、振り回したり乱暴に扱わないでください。
- 水に濡れた状態や強く摩擦が起きると色移りする可能性があります。
- 高温多湿の環境や紫外線のあたる場所での保管、放置は避けてください。
- 製品に異常を感じた際は、直ちにご使用を中止してください。
- 製品は予告なく変更となる場合があります。

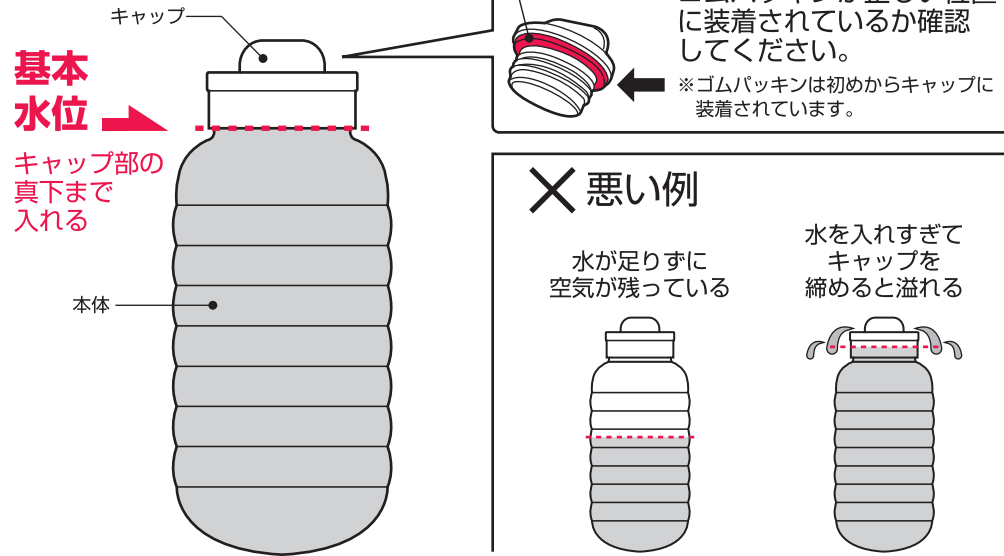
この製品は日本国内でのご使用を想定して設計、製造しております。

LIHIT LAB. お客様相談窓口
東京 (03) 5820-2031
大阪 (06) 6946-3931

ご使用の前に品質確認してください

- 本体やキャップに変形、亀裂、割れなどの異常がないか定期的にも必ずご確認ください。異常があった場合や劣化を感じた場合は、絶対に使用しないでください。特に長期保管後は劣化していないかご使用前に状態確認してください。
- キャップにゴムパッキンが正しく装着されているかご確認ください。

水（お湯）の入れ方

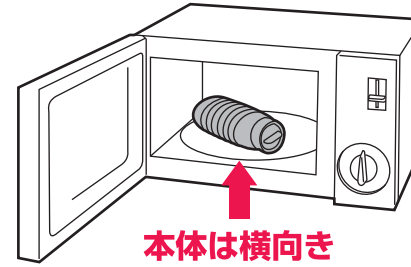


- ①満杯（キャップ部の真下）まで水を入れて本体内部にできるだけ空気を残さないでください。
- ②キャップを確実に締めて、漏れが無いことを確認してください。

⚠ 警告【重大な事故を防ぐために】

- 水、お湯以外の液体を入れないでください。
- お湯を入れる際は、あふれ出たりしないように少量ずつゆっくり注いでください。
- 直接お湯を入れてお使いになる際は、洗面台などお湯があふれても安全な場所で行ってください。
- 水（湯）を入れすぎるとキャップを締める際、水（湯）が溢れますのでご注意ください。
- お湯を入れた湯たんぽは熱くなります。直接手でふれず、ミトンや手袋、タオルなどを着用してお取り扱いください。
- 70℃以上の熱湯を直接入れないでください。高温のお湯はやけどの原因になりますので少し時間をおいて冷ましてから入れてください。

電子レンジでの温めかた



- カバーは外す
- 水は満杯にして空気を抜く
- 本体は横向きで加熱
- オート加熱禁止
- 出力 600W 以下で加熱
- 加熱時間は 5 分まで
- やけどに注意

- ①カバーは必ず外してください。
- ②水を満杯にして、できるだけ空気を抜いてキャップを確実に締めてください。
- ③本体を横にした状態で、電子レンジに入れてください。
- ④下記を目安に電子レンジをセットしてください。（加熱温度は約70℃までを推奨します）

常温（約 20℃）から加熱した場合の温度変化の目安

レンジ出力	加熱時間	3分	4分	5分
500W		約 50℃	約 60℃	約 70℃
600W		約 56℃	約 68℃	約 80℃ (高温注意)

- レンジの出力は 600W 以下とし、加熱時間は 5 分までにしてください。
- 温度が低いと感じ、追加加熱する場合、先に加熱した時間を必ず加味してください。
- 電子レンジの機種や加熱前水温により同じ加熱時間でも加熱後の温度に差が出る場合があります。特に加熱前の水温が高い場合、加熱しすぎにご注意ください。

- ⑤加熱中は常に本体の状態を確認してください。（過剰に膨らむ等があった場合は直ちに加熱を停止してください。）
- ⑥加熱直後は本体が大変熱くなっております。電子レンジから取り出す際は、ミトンや手袋、タオルなどを用いて取り出してください。
- ⑦再加熱する際は、①からの作業を繰り返してください。定期的にも中の水は入れ替えてください。水を入れ替える際は完全に冷めた状態で行ってください。

⚠ 警告【重大な事故を防ぐために】

- カバーは必ず外してから加熱してください。
- 湯たんぽ本体内部に空気が残った状態で加熱すると、キャップが変形し、開閉ができなくなる場合があります。
- オート加熱（おまかせ加熱）は絶対にしないでください。オート過熱を行うと加熱時間が長くなり、キャップが熱で変形して蒸気が外へ漏れ出ることがあり危険です。必ず時間設定は手動で行ってください。
- 出力 600W を超えての加熱、5 分を超えての加熱は絶対にしないでください。破裂、変形、溶解、発煙、発火の原因となります。
- 加熱中に異常があった場合、加熱を停止してください。すぐに電子レンジの扉を開けず、冷めてから取り出してください。
- 電子レンジの庫内は清掃し、ゴミや汚れが無い状態で加熱してください。
- 別の物と一緒に加熱することはしないでください。